

1. 海藻類・海草類

1. ^{かいそう}海藻類・^{うみくさ}海草類

泡瀬地区で見られる海藻類・海草類には、周年生育して藻場を形成する海産種子植物の海草類と主に季節的に藻体として繁茂する海藻類があります。

海藻類はとても多くの種を有します。泡瀬地区ではこれまでに **113 種**が確認されていますが、ほかに種までの同定ができていないものもあることから、さらに多くの種が存在するものと考えられます。海藻類は冬から春にかけて生長するものが多く、当海域で普通にみられるものは、緑藻類の**アナアオサ**、**ボウアオノリ**、**ヒトエグサ**、**イソスギナ**、**フデノホ**、褐藻類の**フクロノリ**、**カゴメノリ**、**ヒメハモク**、**オキナワモズク**、紅藻類の**ガラガラ**、**イバラノリ**、**カイメンソウ**等であり、**ヒトエグサ**と**オキナワモズク**は養殖も行われています。

海草類では**リュウキュウスガモ**、**リュウキュウアマモ**等 **9 種**が確認されており、最近の調査でさらに **2 種**が新種あるいは日本での未記載種として生育することが分かってきました。また、汽水域に生育する**カワツルモ**も一般的には水草とされますが、海外ではマングローブ帯で見られるため海草類として扱われることがあります。

貴重種としては、黄緑藻類の**クビレミドロ**、緑藻類の**カサノリ**、**ホソエガサ**があげられます。このうち**クビレミドロ**は、沖縄本島の限られた場所にだけ生育が知られる日本固有種であり泡瀬地区の事業において保全対策が図られています。

1. 海藻類・海草類



ヒトエグサ

アオサ目 ヒトエグサ科

Monostroma nitidum

大きさ: 直径10~30cm。

特徴: 沖縄ではアーサーとして親しまれ、食用とされている。体は薄くてやわらかい。触るとぬるぬるしている。

分布: 本州太平洋岸中・南部、本州日本海岸南部から南西諸島、朝鮮半島から中国。

干潟



ボウアオリ

アオサ目 アオサ科

Ulva intestinalis

大きさ: 全長30cm。

特徴: 円柱状で棒のように真直ぐ伸び、枝分かれしない。薄くてやわらかく、岩の上で生育する。

分布: 日本各地、朝鮮半島、太平洋、インド洋、大西洋。

干潟



アナアオサ

アオサ目 アオサ科

Ulva pertusa

大きさ: 全長20~40cm。

特徴: 体は薄くて平たい。少しごわごわした手触で、生長すると体のあちこちに大小の穴がたくさん開く。

分布: 日本各地、朝鮮半島。

干潟



アオモグサ

ミドリゲ目 アオモグサ科

Boodlea coacta

大きさ: 直径2~7cm。

特徴: 体は、規則的に枝分かれしている。枝は細い。触るとばらばら崩れやすい。

分布: 本州太平洋岸中南部から南西諸島。

干潟

1. 海藻類・海草類



キツネノオ

ミドリゲ目 マガタマモ科

Cladophoropsis vaucheriaeformis

大きさ: 直径10~30cm,

特 徴: 体は海綿状で、不規則に分枝する。海綿動物と共生しているため、動物的な臭いがする。

分 布: 九州南部から南西諸島:フィリピン、インド洋。

サンゴ
礁



ムクキッコウグサ

ミドリゲ目 パロニア科

Dictyosphaeria versluisii

大きさ: 直径3~4cm,

特 徴: 亀の甲羅の形をした細胞が並び、体は硬い。

分 布: 南西諸島:台湾、インドネシア、太平洋熱帯域、インド洋。

藻場
サンゴ
礁



タカノハズタ

イワズタ目 イワズタ科

Caulerpa sertularioides f. *longipes*

大きさ: 高さ5~10cm,

特 徴: 体は海底をほう枝と直立する枝からなる。直立枝に羽の様な小枝が出る。

分 布: 南西諸島:フィリピン、大西洋。

藻場



センナリズタ

イワズタ目 イワズタ科

Caulerpa racemosa var. *clavifera* f. *macrophysa*

大きさ: 高さ2~15cm,

特 徴: 海底をほう枝と直立する枝からなり、直立枝にはブドウ状の小枝がつく。

分 布: 太平洋:インド洋、大西洋の熱帯、亜熱帯域。

藻場

1. 海藻類・海草類



サイハイズタ

イワズタ目 イワズタ科

Caulerpa serrulata var. *boryana* f. *occidentalis*

大きさ: 高さ3~7cm。

特徴: 海底をほう円柱状の枝と、直立する枝からなり、直立枝はのこぎり状となる。

分布: 南西諸島:フィリピン、ミクロネシア、大西洋。

藻場



リュウキュウズタ

イワズタ目 イワズタ科

Caulerpa sp.

大きさ: 高さ2~7cm。

特徴: 体は他のイワズタ類と比べて、非常にもろく壊れやすい。水深8~20mの砂泥地に生育する。

分布: 沖縄本島。

砂地



コテングハウチワ

イワズタ目 ハゴロモ科

Avrainvillea erecta

大きさ: 全長10~20cm。

特徴: 体は扇状となる。根の部分は砂をつけ太くふくらむ。砂地に生育する。

分布: 南西諸島:フィリピン。

藻場



マユハキモ

イワズタ目 ハゴロモ科

Chlorodesmis fastigiata

大きさ: 4~6cm。

特徴: 体は細い毛が多数集まっている。海底では流れてゆらゆら揺れる。サンゴれきや岩の上に生育する。

分布: 四国から南西諸島:台湾、フィリピン、ミクロネシア、オーストラリア、インド洋

藻場

1. 海藻類・海草類



ミツデサボテングサ

イワズタ目 ハゴロモ科

Halimeda incrassata

大きさ: 高さ15～25cm。

特徴: 体はかたく、上の方ほど平たくなる。枝の先端は普通三手状になる。根の部分は砂をつけ太くふくらむ。

分布: 琉球列島:インド洋、西太平洋北部と南部。

藻場



ハゴロモ

イワズタ目 ハゴロモ科

Udotea orientalis

大きさ: 高さ3～8cm。

特徴: 体はうちわ状となり、砂地に生育する。コテングノハウチワに似ているが、本種の方が平たい。

分布: 南西諸島:フィリピン、インドネシア、ミクロネシア。

藻場



カタミズタマ

カサノ目 ダジクラズス科

Bornetella oligospora

大きさ: 高さ3cm。

特徴: 円柱状の体で先端が赤みを帯びる。これらがいくつもが重なりあい転石や岩の上に生育する。

分布: 南西諸島:ポリネシア、フィリピン、インド洋。

藻場



ウスガサネ

カサノ目 ダジクラズス科

Cymopolia vanbosseae

大きさ: 高さ1cm。

特徴: 体は円柱状で、うす形のもの何段か重なる。岩や転石上に生育する。

分布: 南西諸島:フィリピン、インドネシア。

藻場

1. 海藻類・海草類



フデノヒ

カサノ目 ダジクラズ科

Neomeris annulata

大きさ: 1~2cm,

特 徴: 体は円柱状で、下部は白色、上部は黄緑色となる。転石や岩の上に生育する。

分 布: 本州太平洋岸南部から南西諸島: 太平洋熱帯域、インド・大西洋。

熱帯



ホソエガサ

カサノ目 カサノ科

Acetabularia caliculus

大きさ: カサの直径0.4~0.7cm,

特 徴: 体は長く伸びた柄とお椀状のカサからなる。

分 布: 本州中部以南: 中部太平洋、南オーストラリア、インド洋、大西洋側、地中海等。

希少性: CR+EN(環)、危急(沖)

干潟



リュウキュウガサ

カサノ目 カサノ科

Acetabularia dentata

大きさ: カサの直径0.4cm,

特 徴: 体は長く伸びる柄と白色のカサからなる。カサの先端は尖る。砂地のサンゴれきや貝殻上に生育する。

分 布: 南西諸島: フィリピン、インドネシア、ニューカレドニア。

干潟



カサノリ

カサノ目 カサノ科

Acetabularia ryukyuensis

大きさ: カサの直径1~1.5cm,

特 徴: 体は長く伸びた柄と皿状のカサからなる。砂地のサンゴれきや貝殻上に生育する。

分 布: 南西諸島。

干潟

1. 海藻類・海草類



イソスギナ

カサリ目 カサリ科

Halicoryne wrightii

大きさ: 高さ5~10cm。

特徴: 体は円柱状で、輪生した小枝が何重にも重なる。

分布: 本州太平洋岸南部から南西諸島: フィリピン、インドネシア。

干潟



クビレミドロ

フシナシミドロ目 フシナシミドロ科

Pseudodichotomosiphon constrictus

大きさ: 高さ1.5cm, 直径3cm。

特徴: 糸状の体は円柱状で、ところどころがクビレしている。これらが寄り添ってドーム状に生育する。

分布: 沖縄本島の3海域のみ。
(泡瀬地区・屋慶名地区・恩納地区)

希少性: CR+EN(環)、危惧(沖)

干潟



イトアミジ

アミジグサ目 アミジグサ科

Dictyota linearis

大きさ: 高さ5~12cm。

特徴: 体は薄く、枝分かれしており、枝は幅が0.5~2mmと細い。

分布: 本州から南西諸島・朝鮮半島、中国、フィリピン、大西洋。

藻場



ハイオオギ

アミジグサ目 アミジグサ科

Lobophora variegata

大きさ: 半径4~5cm。

特徴: 体は薄い革状で扇状に重なる。岩や転石上に生育する。

分布: 本州太平洋岸南部から南西諸島、小笠原諸島: 中国、太平洋熱帯域、オーストラリア。

藻場

サンゴ礁

1. 海藻類・海草類



ウスバウミウチワ

アミジグサ目 アミジグサ科

Padina australis

大きさ: 高さ15cm以下。

特徴: 体は褐色で扇状となる。転石や岩、サンゴれき上に生育する。

分布: 四国から南西諸島、朝鮮半島、中国、台湾、オーストラリア。

藻場



ウスユキウチワ

アミジグサ目 アミジグサ科

Padina minor

大きさ: 塊の直径5~30cm。

特徴: 体は白っぽい褐色で扇状となる。転石や岩の上に生育する。

分布: 本州太平洋岸南部から南西諸島、朝鮮半島、中国、台湾。

藻場

サンゴ場



オキナワモズク

ナガマツモ目 ナガマツモ科

Cladosiphon okamuranus

大きさ: 高さ20~40cm。

特徴: 体は円柱状で枝分かかれし、手触りはぬるぬるする。サンゴれきや海草上に生育する。沖縄では養殖も盛んに行われている。

分布: 南西諸島。

藻場



フクロノリ

カヤモリ目 カヤモリ科

Colpomenia sinuosa

大きさ: 直径4~20cm。

特徴: 体は袋状で、春先にサンゴれきや転石上でよくみられる。

分布: 北海道から南西諸島、朝鮮半島、中国、太平洋、大西洋。

干潟

藻場

1. 海藻類・海草類



カゴメノリ

カヤモノリ目 カヤモノリ科

Hydroclathrus clathratus

大きさ: 直径5～20cm。

特徴: 体は袋状でところどころに穴が開き、網目状となる。春先にサンゴレキや転石上でよくみられる。

分布: 本州太平洋岸中部、本州日本海岸中部から南西諸島・朝鮮半島から台湾、太平洋温帯熱帯域、大西洋。

藻場



ヤバネモク

ヒバマタ目 ホンダワラ科

Hormophysa cuneiformis

大きさ: 高さ20～30cm。

特徴: 体ははたく、矢羽がいくつも重なったような形状となる。転石上に年中みられる。

分布: 南西諸島・太平洋熱帯域、インド洋。

藻場



ヤツマタモク

ヒバマタ目 ホンダワラ科

Sargassum patens

大きさ: 高さ50～100cm。

特徴: 体の下部は平たく、そこから伸びる茎には、だ円形や球形に近い気泡をもつ。岩の上に生育する。

分布: 本州から南西諸島・朝鮮半島、中国。

藻場



コバモク

ヒバマタ目 ホンダワラ科

Sargassum polycystum

大きさ: 高さ20～200cm。

特徴: 仮根から周囲に枝が這うのが特徴です。冬季に転石やサンゴレキ上に生育する。

分布: 小笠原諸島、南西諸島・太平洋熱帯域、インド洋。

藻場

特徴的な仮根

1. 海藻類・海草類



ラッパモク

ヒバマタ目 ホンダワラ科

Turbinaria ornata

大きさ: 高さ10～30cm。

特徴: 体は円柱状で、ラッパ状の葉が出る。葉のへりには棘があり、手触りはかたい。

分布: 南西諸島:台湾、太平洋熱帯域。

サンゴ
礁



ハイテングサ

テングサ目 テングサ科

Gelidium pusillum

大きさ: 高さ1.2cm。

特徴: 体は円柱状で枝は240μmと細く、枝分かれした部分は平たくなることもある。干潟の岩の上でよくみられる。

分布: 北海道から南西諸島:朝鮮半島、中国、大西洋。

干潟



カギケリ

カギケリ目 カギケリ科

Asparagopsis taxiformis

大きさ: 高さ10～30cm。

特徴: 体は海底をほう枝と直立する枝からなる。直立する枝は、毛状で淡いピンク色となる。

分布: 本州太平洋岸中部～南西諸島:朝鮮半島、台湾、太平洋熱帯域、オーストラリア、紅海。

サンゴ
礁



イバラノリ

スギノリ目 イバラノリ科

Hypnea charoides

大きさ: 直径10～50cm。

特徴: 体は円柱状で枝分かれし、枝の先端はイバラの様にとがっている。沖縄ではモーイと呼ばれる。

分布: 本州中部から南西諸島:熱帯太平洋、インド洋。

藻場
サンゴ
礁

1. 海藻類・海草類



カイメンソウ

マサゴシバリ目 マサゴシバリ科

Ceratodictyon spongiosum

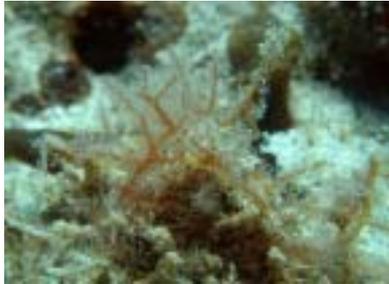
大きさ: 直径10~30cm。

特徴: 体は海綿状となる。触るとかたく、ザラザラ、ゴツゴツしている。海綿動物と共生しているため、動物的な臭いがある。

分布: 本州太平洋岸南部から南西諸島: 台湾、中国南部、フィリピン、インドネシア、インド洋。

藻場

サンゴ礁



ウブゲグサ

イギス目 イギス科

Spyridia filamentosa

大きさ: 高さ5~7cm。

特徴: 体は糸状で不規則に枝分かれする。体全体にうぶ毛の様な細かい小枝が見られる。

分布: 本州~南西諸島: 太平洋、インド洋、大西洋、地中海。

サンゴ礁



トゲリ

イギス目 フジマツモ科

Acanthophora spicifera

大きさ: 高さ5~20cm。

特徴: 体は円柱状で枝分かれし、枝の先端付近には星形の突起がみられる。

分布: 本州太平洋岸南部から南西諸島: フィリピン、大西洋。

藻場



マクリ

イギス目 フジマツモ科

Digenea simplex

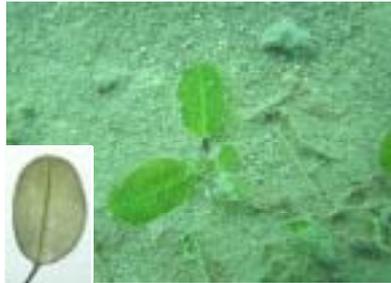
大きさ: 高さ5~25cm。

特徴: 体は円柱状で規則正しく枝分かれし、細かい毛のような小枝で被われる。

分布: 本州太平洋岸南部から南西諸島: 太平洋熱帯域、大西洋。

藻場

1. 海藻類・海草類



ウミヒルモ

オモダカ目 トチカガミ科

Halophila ovalis

大きさ: 葉長0.6 cm ~ 1.1 cm、葉幅4 ~ 7 mm、

特徴: 葉の多くは小判形で、葉の先端は円い。色は黄緑 ~ 濃緑色 ~ 淡かった色と変化に富む。

分布: 奄美大島以南の琉球列島。

希少性: NT(環)

Uchimura et al. (2006) による。

藻場



オオウミヒルモ

オモダカ目 トチカガミ科

Halophila euphlebia

大きさ: 葉長3 cm程度まで、葉幅5 ~ 15mm、

特徴: 日本に生育するウミヒルモ属の中では一番大型で、葉も厚くしっかりとしている。葉は楕円形。

分布: 紀伊半島南部、徳島南部、鹿児島県南西部から、南西諸島に広く分布。

Uchimura et al. (2006) による。

藻場



トゲウミヒルモ

オモダカ目 トチカガミ科

Halophila decipiens

大きさ: 葉長1.2 ~ 2.2 cm、葉幅3 ~ 6 mm、

特徴: 葉は、楕円形。葉の厚さは薄く、両面および、片面にトゲ状の突起が多数生えている(肉眼では見難い)。

分布: 2006年現在、沖縄本島周辺のみ。

希少性: VU(環)、危急(沖)

Uchimura et al. (2006) による。

藻場



ホソウミヒルモ

オモダカ目 トチカガミ科

Halophila sp.1

大きさ: 葉長0.7 ~ 1.2 cm、葉幅3.7 ~ 6.1mm

特徴: 葉は、細長い楕円形から卵形まで変化に富む。葉の先端は、円頭から緩い凹頭状がある。葉基部は、くさび形も存在する。色は明るい黄緑色で透明感が高い。

分布: 琉球諸島(沖縄諸島、先島諸島)

現在調査研究中。

藻場

1. 海藻類・海草類



リュウキュウスガモ

オモダカ目 トチカガミ科

Thalassia hemprichii

大きさ: 高さ10~40cm。葉の幅0.5~2cm。
特徴: リュウキュウアマモに似て、葉は細長い幅は広い。海草類の中では沖縄で最も普通に見られる種。

分布: 南西諸島:太平洋、インド洋、紅海等の暖海。

希少性: NT(環)

藻場



ボウバアマモ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Syringodium isoetifolium

大きさ: 高さ10~30cm。
特徴: 円柱状の葉をもつ海草。

分布: 南西諸島:太平洋、インド洋、紅海等の暖海。

希少性: NT(環)

藻場



ベニアマモ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Cymodocea rotundata

大きさ: 高さ5~20cm。葉の幅0.2~0.4cm。
特徴: 葉は細長い幅は狭い。先端部が丸くなる。

分布: 南西諸島:太平洋、インド洋等の暖海。

希少性: NT(環)

藻場



リュウキュウアマモ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Cymodocea serrulata

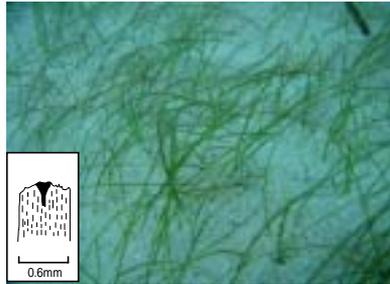
大きさ: 高さ6~15cm。葉の幅0.4~1cm。
特徴: リュウキュウスガモに似て、葉は細長い幅は広い。海底地下にある茎には竹のような節はみられない。よく赤色の横しま模様がみられる。

分布: 南西諸島:太平洋、インド洋、紅海等の暖海。

希少性: NT(環)

藻場

1. 海藻類・海草類



マツバウミジグサ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Halodule pinifolia

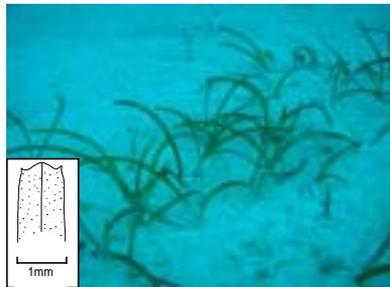
大きさ: 高さ5~20cm, 葉の幅0.1cm。

特徴: 葉は松の葉の様に細長く、先端部がギザギザしている。

分布: 南西諸島:太平洋等の暖海。

希少性: NT(環)

藻場



ウミジグサ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Halodule uninervis

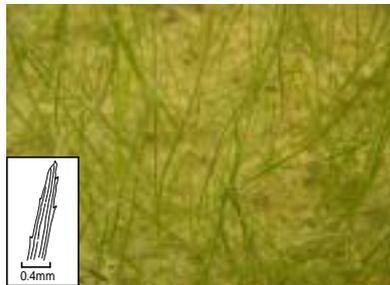
大きさ: 高さ5~15cm, 葉幅0.1~0.3cm。

特徴: 葉は細長い幅が狭い。先端部がかんむり状にとがっている。

分布: 南西諸島:太平洋、インド洋、紅海等。

希少性: NT(環)

藻場



カワツルモ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Ruppia maritima

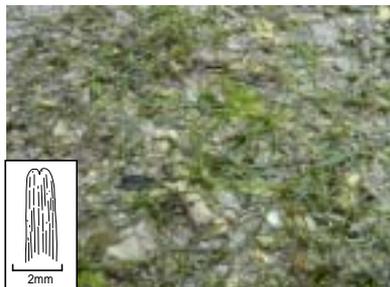
大きさ: 葉長5~10cm。

特徴: 葉は細長い幅は0.3~0.5mmと狭い。汽水域に生育する。

分布: 世界中。

希少性: EN(環)、危急(沖)

汽水



コアマモ

オモダカ目 ヒルムシロ科

Zostera japonica

大きさ: 高さ10~20cm, 葉幅0.1~0.4cm。

特徴: 葉は細長い幅が狭い。葉を透かして見るとアミダクジ模様がみえる。

分布: 日本各地:アジア、ヨーロッパ、アメリカ等。

希少性: DD(環)

藻場